

445

融けてゐるから、今の処からの意志と直  
接表出する機会が、この直感といふ。

八月一日(土)

戦争突発以来、茲に既に半歳は過ぎ、遂に  
八月を越へるに至つた。因はれて外界と接觸と断  
たれてゐる現状に於て、誰れもか漸く緊張を欠く  
か如き觀を呈するに至つたのは遺憾ではあるが、また  
環境の刺激が少い為のでもらる。無為後食は  
吾人をして益々、不快の情性に駆らしめ、漸に  
慄いませしめはせらん。

八月五日(水)

茲おる来、午前中は微風であつて、いさゝか暑熱に  
堪へ得るものから、夕食後の暑氣は怖ろしい。  
約一週間の便秘だ。同じ光から sponge を使  
ひ受け、灌腸をしても、脱肛するにつけて、便の効果  
なく不快此の上もなし。

豫報の如く、本日は、スペインを領する (new Orleans)  
~~ハルビン~~ (本) 及び口 裕有書記官ヤンが両氏  
来る。同胞側から約二十名の代表者達と  
会見した。要するに大山鳴鶴にて鼠一匹  
に過ぎない。代表者達の不平斐々、交渉の  
結果は外からの助けと共に、豫の同胞側の  
準備が足りないのである。会見

(ス  
ペ  
イ  
ン  
領  
土  
の  
訪  
問)

446

後の報告事項は

- ① 家族へ復帰。去る七月廿一日に日務、日法及び陸軍の三府向に Internees を家族と同棲せしむる件につき、始めて協議をり。自來水の実現に際し考慮中である。
- ② 帰国希望者は目下合計 2,800 名あり、次回交換船には約 1,500 名を乗船せしむる筈だが、この人数は最初の申出順によるのか厚則であるのか、はたし三府協議により実りを見る、但し財産整理とか或は家族同伴等の如き條件付にお申出は無視し何等考慮に入れない。今回は日政府側の人選要求は極めて少数である。交換船は来る廿四、五日に入港し、九月初旬に出帆の予定だ。即ち internees の財産は凍結せられ解決は戦後に持ち越さる。

以上の事柄をもって、他は軍の未摘事と見る。面白く事は、昨日スペイン代表者並に日務代表の来訪を控へ、遂に飼育方の材料が激増し食料が山の程に薄らぐと同時に、裏に監督将軍来訪の際、言貰らった飲料水の設備が実施される。併かも右飲料水に至っては、栗の松の下に、Ash Can を新いさむる氷水を入れたる水栓を施設台の上に架せた、まことに珍事のものである。戦争風景の一つと見做して了へば、

物束

447

糖と果味の類はあつたが、ゴミ捨て罐の飲料水  
とは大口の樽度が無い。要するに、却キヤンブ官軍  
事實任者が今日迄怠つてゐる事と暴露した事だけ  
は明瞭だ。責任者の狼狽振りが見えて微笑せざる  
と得ない。

昨日午前、田中トランの金貨と持、病院へ渡暢  
ルおかげの通り、自分で買ったが、何分にも茲  
お向手食外には、食料らしき物を口に仕え  
ない。直にはちと猛退と脱腔に腔筋の緊張  
を待たつ間、ベッドに臥して午迄、病院で過した。  
此の間、岡崎、ヤ野、及び坪井諸君と雑談に耽  
つた。病院の設備は大体良い様であるが、病室内を  
銃撃つ兵が往き来するのを目撃した時は、実に不  
愉快な感に打たれた。岡崎君等は食事の粗糲  
を不満に言つた。だからんと腹鬱と場所  
には厚着でよい限り、長く居られるものでけり。

八月六日(木)

早朝の空気が立秋の思ひ深さものである。蓋し  
幸地方の暑熱も七月からして、もう一、二週間も  
はらた分畢に或るだらう

午前九時頃、先般来喧傳されてゐる物にハ  
十名の同胞来着。初めは、ウサコンシからだとが言  
はNew Mexicoだ、この方から言々凡て勝手な想  
像談に矢張りかつたが、全員 Fort Missoula から

お着  
来者